

新潟県公民館月報

昭和35年4月1日(毎月1回1日発行)
 発行所 新潟県公民館連絡協議会
 (新潟市青島町・越後自消会館内)
 (紙費(新潟) 4094番)
 発行人 丸山直一郎
 (定価 一部 六円)
 4月号 (86号)

丸山 本年度を最後に去る

今後とも積極的助力を約束

昭和三十五年慶業計画および予算その他について審議する本年度最後の評議員会は、丸山会長以下二十七名が出席し、去る三月三日長岡市大和百貨店グリルにおいて開催された。左記の六つの付議事項は(①②③の詳細は別項)いずれも承認された。

年度末役員会終る

- ①丸山会長辞任承認
- ②昭和三十五年慶業計画および予算の承認
- ③昭和三十五年慶業計画の承認
- ④負債基金承認議定の件
- ⑤秋内流用承認議定の件
- ⑥現金預入先議定の件



【写真説明】 お別れのあいさつをする丸山会長。中央立てる人

評議事項

1. 上周年記念の件(各公民館平均三冊以上購入をお願いす)
2. 主事会の件
この日これにきたら、別会場において副会長会議および理事会对して丸山会長の辞任に対する審議について協議がなされた。

がよいなら、種々當局が出されたが、結局会長の意志を尊重して本年三月末をもって会長の辞任を承認し、今後はなんらかのかたちで後から助力をお願いするということ条件でこれを認めることになった。なお丸山会長からつぎのようなあいさつがあった。「八年の長い間、微力を尽くしてきたが、これからは何れも心配はない。私は一身上の都合で去るが、今後は助力などという条件をつけなくても、社会教育のことについてはむしろ積極的にやる立場になれるので、将来とも力をつくすことを約束する」

主事会の組織をどうするか

主事代表、理事側と懇談

さきに第四回幹事会において「主事会」の結成が決議されたがこれについて、この日主事代表六名が理事側と懇談するため出席していた。主事代表岡橋寅伊知氏(下越)から主事会結成についての経過報告および理事側へのお願い等について申し入れるところがあったが、評議員会終了後あらためて主事代表六名と石井副会長、安沼常任理事との話し合いが行なわれた。内容の要は次のとおりである。

組織について

- 県公連の組織のなかで主事会を置き、主事会の意志を理事側に発表できるようにしてもらいたい。
- 郡市公民館のなかから主事会代表を出し、招集は県公連会長名とする。責任者は議長として主事会をつかさどる。とうかつかちで行きたい。
- なお、右について三月二十一日県青年の家で主事代表六名が集り、主事会会則草案起草についてある。(全公連速報)

目次	
昭和三十五年慶業計画概要	2 P
昭和三十五年慶業予算	3 P
昭和三十五年県員負担金	4 P
昭和三十五年慶業月別プログラム	5 P
今後の社会教育、反論	6 P
表日本の青年学級を交歓して	7 P
人類の敵を征服するために	8 P

4月のよみ

紀元前約五六六年四月八日、インドのカピラ城王の子として生まれ、二十九才から僧を採りて修行した仏教の開祖。彼の教えは自己伸長、自己克服である。

× ×

「一切の困々におもむけ。そしてこの福音を説け。貧しきもの卑しきもの、富めるもの位言を、すべてのカースト(種姓)はこの教えのなかに統合せらるることを、人に告げよ。

勝利は憎悪をばくむ。被征服者は不幸であるから。戦いにおいて、一人が千人に打ち勝つこともある。しかし自己に打ち勝つこそ、最も偉大なる勝利者である。(ネルー)インドの発見」(よみ)

全国公民館大会

昭和三十五年度の第九回全国公民館大会の会場はながらく未定であったが、このたび愛媛県公連、同県教委から松山市で開催したいむねの申し出があったので、全公連では別項の役員会にはかつて正式に協議決定する。なお、時期は未定であるが、本年は秋の予定である。(全公連速報)

全公連役員会開く

四月一日二日
 全公連の三十五年慶業計画、予算などを審議決定するための評議員会は、四月二日午前十時から全国町村会第四会議室で開催された。評議員会提出議案の他について協議するため、前日の午前十時から本会事務局で理事会を開き行なうことになっている。

本県からは石井副会長が出席する。

昭和三十五年度事業計画概要

本年度事業大綱

一、基本方針

社会教育振興のため、公民館の健全な発展をはかることは、県公連結成以来の不變の役割である。このため公連、都市公連と連絡を密にし、互いに協力して総合的に事業を実施しようとするものである。

二、事業の重点

- 1、設備運営基準に近づけるための努力のひとつとして、施設の充実を第一にとりあげ、これについての基礎調査および実態調査等の資料を作成し提供する。
- 2、公民館職員に研修の機会を与え、その育成向上をはかるため新規職員のための基礎的教養を主とした講習会および養成職員のための公民館活動の実践を主とした講習会を開催する。
- 3、市町村の理事者および地教委に対し、施設の充実、館長主事の増員等について啓蒙のため懇談会を行なう。

- ### 一、本会の運営
- 1、評議員会 年三回
 - 2、理事會 年七回
 - 3、監事會 年二回
 - 4、主事會 年四回
- ### 二、連絡協議
- 担当者 石井、安沢
 - 1、余公連評議員會 年一回
 - 2、余公連事務局長會議 年一回

- 3、関東甲信越靜公連協議會 年一回
 - 4、県社会教育関係団体協議會 (公民館、青年団、婦人連盟、P.T.A) 年二回
 - 5、行政機関との懇談會(知事県教委、社会教育関係各課、市町村協議會、市町村社会教育委員協議會)
- ### 三、公民館大会
- 担当者 畑井、坂西
 - 1、全国公民館大会

- 2、県公民館および職員表彰大會(小千谷市)予定
 - 3、警察、社会福祉団体との研究会
 - 4、学級護照研究会
- ### 四、講習會
- (県教委共催)
 - 担当者 石井、安沢、南原、樋口
 - 1、公民館職員講習會
 - 2、新採用職員のための講習會(基礎的教養を主としたもの)
 - 3、既成職員のための講習會(公民館活動の実践のための講習會)
- ### 五、諸事業
- 1、都市市町村連研究會(県公連共催)(四の(2)と関連)
 - 2、上中下越ブロック研究會(教育行政課所主催)
 - 3、視察計画(全国公民館大会の機会を利用する)

- ### 六、県教委と共催事業
- 担当者 石井、安沢
 - 1、法改正に伴う市町村公民館実態調査(登壇、現在、基運)
 - 2、市町村社会教育事務指導(条例、経理、その他事務)
 - 3、市町村(公民館)充実計画立案奨励
- ### 七、資料発行
- 担当者 内山、石部
 - 1、月報発行
 - 2、編集委員會 年四回
 - 3、十周年記念誌の発行
 - 4、運営審議委員の手引
 - 5、編集委員會(記念誌)
 - 6、便覧圖書紹介幹旋
- ### 八、協力事業
- 1、協力運動、新生活運動、共同募金運動、貯蓄奨励運動、園上緑化運動、公民館運動、住みよ(郷土建設運動、ユネスコ運動、週休制運動、教育問題研究會、青少年活動奨励発表會、県青年大會)
 - 2、訪問、婦人訪問、講習會訪問、社会福祉訪問、入籍講習會

昭和35年度予算

歳入の部

款	項	目	本年度予算	前年度(当初)	増	減	前年度現計	備	考		
1.	分	担	金	481,000	476,000		5,000	476,000			
	1.	分	担	金	481,000	476,000		5,000	476,000		
		1.	一	般	負	担	金	251,000	246,000	5,000	
		2.	特	別	負	担	金	230,000	230,000		
2.	県	補	助	金	400,000	500,000	△100,000	400,000			
	1.	県	補	助	金	400,000	500,000	△100,000	400,000		
		1.	県	補	助	委	員	金	400,000	500,000	△100,000
3.	繰	越	金	120,000	30,000		90,000	100,095			
	1.	繰	越	金	120,000	30,000		90,000	100,095		
		1.	繰	越	金	120,000	30,000		90,000	100,095	
4.	雑	収	入	152,000	162,000		△10,000	162,000			
	1.	雑	収	入	152,000	162,000		△10,000	162,000		
		1.	適	年	度	収	入	110,000	120,000	△10,000	
		2.	資	料	販	売	料	20,000	20,000		
		3.	換	付	金	入	20,000	20,000			
		4.	雑	収	入	2,000	2,000				
		才	入	合	計	1,153,000	1,168,000	△15,000	1,138,095		

歳出の部

昭和35年度予算

款	項	目	本年度予算	前年度(当初)	増減	前年度現計	備考
1.	事務費		209,000	258,000	△49,000	258,000	
	1.	手当	96,000	95,000	1,000	95,000	
		1. 手当	96,000	95,000	1,000	95,000	
	2.	旅費	30,000	40,000	△10,000	40,000	
		1. 旅費	30,000	40,500	△10,000	40,000	
	3.	需要費	83,000	123,000	△40,000	123,000	
		1. 備品費	20,000	20,000		20,000	
		2. 消耗品費	40,000	40,000		40,000	
		3. 通信運搬費	20,000	60,000	△40,000	60,000	
		4. 雑費	3,000	3,000		3,000	
2.	事業費		900,000	855,000	45,000	840,000	
	1.	大会費	100,000	60,000	40,000	60,000	
		1. 大会費	100,000	60,000	40,000	60,000	
	2.	会議費	90,000	75,000	15,000	85,000	
		1. 評議員会費	20,000	15,000	5,000	17,000	
		2. 役員会費	40,000	30,000	10,000	38,000	
		3. 幹事会費	30,000	30,000		30,000	
	3.	研修費	150,000	150,000		140,000	
		1. 研修費	150,000	150,000		140,000	
	4.	月報発行費	380,000	384,000	△4,000	374,000	
		1. 報償費	20,000	20,000		20,000	
		2. 取材費	100,000	100,000		90,000	
		3. 印刷費	250,000	250,000		250,000	
		4. 編集委員会費	10,000	14,000	△4,000	14,000	
	5.	連絡費	50,000	55,000	△5,000	50,000	
		1. 全国大会費	20,000	20,000		20,000	
		2. 中央会議費	30,000	30,000		30,000	
			0	5,000	△5,000	0	その他 連絡費
	6.	振興費	130,000	131,000	△1,000	131,000	
		1. 県内振興費	50,000	50,000		50,000	
		2. 資料費	80,000	76,000	4,000	76,000	
			0	5,000	△5,000	5,000	その他 振興費
3.	負担金		30,000	33,000	△3,000	30,000	
	1.	負担金	30,000	33,000	△3,000	30,000	
		1. 負担金	30,000	33,000	△3,000	30,000	
4.	予備費		14,000	22,000	△8,000	10,095	
	1.	予備費	14,000	22,000	△8,000	10,095	
		1. 予備費	14,000	22,000	△8,000	10,095	
	才出合計		1,153,000	1,167,000	△15,000	1,138,095	

昭和35年度県公連負担金

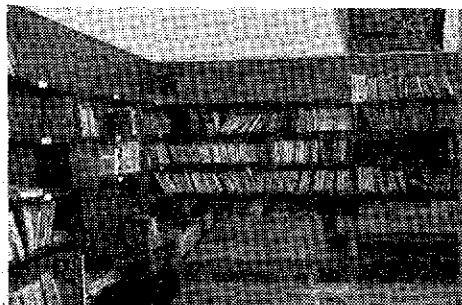
郡市名	34年度負担金	人口(日報年鑑)	35年度負担金	増減
北蒲原郡		174,211	17,400	
新発田市	25,200	79,238	7,900	100
中蒲原郡		67,311	6,700	
新津市	20,000	57,579	5,700	△3,800
五泉市		38,379	3,800	
西蒲原郡	15,800	145,485	14,500	△1,300
燕市	3,500	36,583	3,600	100
南蒲原郡	5,400	54,311	5,400	
見附市	4,000	40,820	4,000	
三条市	6,900	70,608	7,000	100
加茂市	4,000	40,241	4,000	
東蒲原郡	3,800	38,483	3,800	
三島郡	8,400	77,497	7,700	△100
古志郡		6,463	600	
砺波市	3,800	38,550	3,800	
北魚沼郡	6,900	68,923	6,800	△100
小千谷市	5,100	51,585	5,100	
南魚沼郡	8,100	82,182	8,200	100
中魚沼郡		54,377	5,400	
十日町市	9,700	43,527	4,300	
刈羽郡	6,000	59,845	5,900	△100
柏崎市	7,700	75,143	7,500	△200
東頸城郡	5,800	58,575	5,800	
中頸城郡		102,218	10,200	
高田市	25,200	75,242	7,500	
直江津市		43,205	4,300	300
新井市		35,870	3,500	
西頸城郡		43,045	4,300	
糸魚川市	8,400	41,877	4,100	
岩船郡		75,632	7,500	
村上市	10,800	34,063	3,400	100
佐渡郡	9,000	90,639	9,000	
両津市	3,000	30,840	3,000	
新潟市	29,800	314,628	31,400	1,600
長岡市	14,100	142,499	14,200	100
白根市		37,714	3,700	3,700
計	250,400	2,527,378	251,000	600



〔横越村公民館の巻〕

横越村は新潟市、新津市に
 さまれている阿賀野川にそた
 水田の多い農村である。
 村の茶の間として発定した横
 越村公民館は漸次機能別の態勢
 をととのえつつあるが、昨年十
 二月千六〇万円で改装され明
 るく楽しい館に生まれ変わった。
 集金室と学習室をかねたホー
 ル、図書室、事務室がこの二七
 五平方米の公民館
 の中心施設をなし
 ている。昭和三十
 五年度の目標とし
 て

- 一、婦人学級、青年学級の充実育成
- 二、図書利用の活性化
- 三、成人教育面の開拓と新生活運動の推進をかねている。



【横越公民館図書室】

専任職員は一名であるが、今後の発展のためには職員数とその機動力が考えられてゆかねばなるまい。(下越・小初)

あわせて昭和三十三年に農業研
 極センターが建築され、産業教
 育(主として農業)がこころ計
 画されているが、実施は公民館
 と共同で進めこれにあたって
 る。過去三年にわたる農村中
 堅青年養成講座、昭和三十五年
 より一カ年間二百時間、二カ年
 終了の少年研修講座を共同で計
 画している。人口二万たらずの
 村にこれだけの施設が整備され
 ている前は多くはない。従って
 施設の総合利用、活動の有様的
 つながりが今後大いに期待され
 るところである。

昭和35年度事業月別プログラム

月	事業名	事業内容説明	開催	担当事務
四月	理事会(一) 評議員会(一) 県教委との懇談会 職員講習会(一) 社会教育関係(別依頼協議会) 調査委員会(一)	年間プログラム編成、第一四半期事業検討 公民館問題について基礎的教養を主としたもの 公民館、青年団、婦人連盟、P.T.A. 第一、四半期計画	一(2) 一(1) 一(4) 二(5) 二(2)	石井・安沢 " " " " " " " "
五月	理事会(二) 評議員会(二) 県公民館大会 公民館および職員表彰	前年度決算、第二、四半期事業検討 前年度分監査 公民館の諸問題について	一(2) 一(3) 二(5) 一(1) 一(4)	石井・安沢 " " " " " " " "
六月	理事会(三) 評議員会(三) 県公民館大会	前年度決算、第三、四半期事業検討 前年度分監査 公民館の諸問題について	一(1) 一(4) 三(1) 三(1) 三(2)	石井・安沢 " " " " " " " "
七月	理事会(四) 評議員会(四) 県公民館大会	前年度決算、第四、四半期事業検討 前年度分監査 公民館の諸問題について	一(1) 一(4) 三(1) 三(1) 三(2)	石井・安沢 " " " " " " " "
八月	理事会(五) 評議員会(五) 県公民館大会	前年度決算、第一、四半期事業検討 前年度分監査 公民館の諸問題について	一(1) 一(4) 三(1) 三(1) 三(2)	石井・安沢 " " " " " " " "
九月	理事会(六) 評議員会(六) 県公民館大会	前年度決算、第二、四半期事業検討 前年度分監査 公民館の諸問題について	一(1) 一(4) 三(1) 三(1) 三(2)	石井・安沢 " " " " " " " "
十月	理事会(七) 評議員会(七) 県公民館大会	前年度決算、第三、四半期事業検討 前年度分監査 公民館の諸問題について	一(1) 一(4) 三(1) 三(1) 三(2)	石井・安沢 " " " " " " " "
十一月	理事会(八) 評議員会(八) 県公民館大会	前年度決算、第四、四半期事業検討 前年度分監査 公民館の諸問題について	一(1) 一(4) 三(1) 三(1) 三(2)	石井・安沢 " " " " " " " "
十二月	理事会(九) 評議員会(九) 県公民館大会	前年度決算、第一、四半期事業検討 前年度分監査 公民館の諸問題について	一(1) 一(4) 三(1) 三(1) 三(2)	石井・安沢 " " " " " " " "
一月	理事会(十) 評議員会(十) 県公民館大会	前年度決算、第二、四半期事業検討 前年度分監査 公民館の諸問題について	一(1) 一(4) 三(1) 三(1) 三(2)	石井・安沢 " " " " " " " "
二月	理事会(十一) 評議員会(十一) 県公民館大会	前年度決算、第三、四半期事業検討 前年度分監査 公民館の諸問題について	一(1) 一(4) 三(1) 三(1) 三(2)	石井・安沢 " " " " " " " "
三月	理事会(十二) 評議員会(十二) 県公民館大会	前年度決算、第四、四半期事業検討 前年度分監査 公民館の諸問題について	一(1) 一(4) 三(1) 三(1) 三(2)	石井・安沢 " " " " " " " "

第一回職員講習会

4月下旬開催の予定

新しい職員たちのために

講師は三井先生(都立大)を予定

例年充実した日程が組まれ、成果をあげている「職員講習会」が、本年も四月下旬「新潟県青年の家」で開催される予定です。

本年度第一回講習会は、主として新しい職員たちのために計画されるもので、講師に都立大の三井先生を交際中である。

日程の決定次第案内状を送付するが各公民館から多数の参加を期待してゐる。

て寄贈あがとう

2月20日～3月20日

- 日越公民館(長岡市日越) 山西町役(ゆきわ(湯沢町)公 新生上川西(たより(上川西)公 公民館(入込瀬村)公 中郵便(中郷村)公)の(福吉)本成寺地区たより 松代(松代町)公 公民館(さんぼく(本成寺)公 加茂公民館(加茂(山北村)公 真野公民館(真野市)公)黒川公民館(黒川村)公 野町(行幸)たより真野町(真野市)公)小(小野町)公 町のあゆみ(吉田町)公 館報(ひこ(弥彦村)公)公民館(たより(田上村)公)きた(公)公民館(たより(北条町)公)広報(か)に() 選挙時報

四月予定行事

- 一日 県民教育関係
- 二日 第五回秋田大演説会
- 三日 青森補助金説明会(中)
- 四日 青森補助金説明会(下)
- 五日 刀剣巻銀調査会(小林白真店)
- 六日 新築田城修繕委員会
- 七日 重文(長岡市大)
- 八日 和(新潟市小林(佐渡)
- 九日 和(新潟市小林(佐渡)
- 十日 和(新潟市小林(佐渡)
- 十一日 和(新潟市小林(佐渡)
- 十二日 和(新潟市小林(佐渡)
- 十三日 和(新潟市小林(佐渡)
- 十四日 和(新潟市小林(佐渡)
- 十五日 和(新潟市小林(佐渡)
- 十六日 和(新潟市小林(佐渡)
- 十七日 和(新潟市小林(佐渡)
- 十八日 和(新潟市小林(佐渡)
- 十九日 和(新潟市小林(佐渡)
- 二十日 和(新潟市小林(佐渡)
- 二十一日 和(新潟市小林(佐渡)
- 二十二日 和(新潟市小林(佐渡)
- 二十三日 和(新潟市小林(佐渡)
- 二十四日 和(新潟市小林(佐渡)
- 二十五日 和(新潟市小林(佐渡)
- 二十六日 和(新潟市小林(佐渡)
- 二十七日 和(新潟市小林(佐渡)
- 二十八日 和(新潟市小林(佐渡)
- 二十九日 和(新潟市小林(佐渡)
- 三十日 和(新潟市小林(佐渡)

表日本の青年学級と交歓して

＝北蒲豊栄町～静岡県相良町＝

北蒲豊栄町青年学級生35名は昨年末、静岡県相良町学園(青年学級)を訪問、交歓した。「あすを築く若人たちが、何物にもそくばくされず、文化に、産業に、更に人生問題について卒直に語り合いながら、互いに唇舌を交わすことを念じ、またこの機会を通して見聞を広め、視野の広い人となるよう…」と、こ

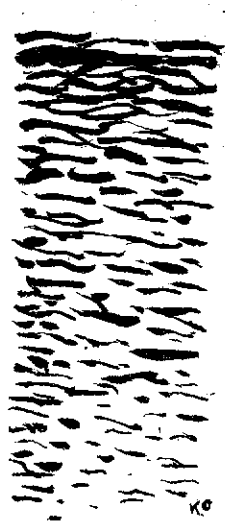
の交歓会が企画されたもので、相良町からは町ぐるみの歓迎を受け、表日本と裏日本の青年たちが、語り合い、学び合うというたのしく有意義な交歓風景をくりひろげた。経費は学級生負担2,400円、町助成1,000円でまかなわれた。以下はその評価の概要である。

(相良町学園は九月、豊栄町に来訪している。)

[交換会評価表]

評価事項	評 価		理由・意見・感想	評価事項	評 価		理由・意見・感想		
	よか つた	まずよ い かつた			よか つた	まずよ い かつた			
1. 相良は交換地として適当であったか	20	4	<ul style="list-style-type: none"> ○表日本と裏日本とちがうところが多く交換地としてよかつた。 ○お互い、ちがった点を教え合いい、その生活状態をみることに出来て非常によかつた。 ○親密に話し合えたし、自然にふれることのできる土地でよかつた。 ○想像もつかなかった茶畑や、東海道線沿いのことができてよかつた。 ○先進地視察としては適当であつたが、産業等の面で今後似通つたところを選びたい。 ○通つて一回交換をやつた人達なのでみんな安心してゆけたことよかつた。 	8. 話し合いはよくてよかったか。	6	15	3	<ul style="list-style-type: none"> ○時間が少なかつたので、青年相互の個々の話し合いが出来なかつたのは残念。 ○受入者とは朝の二時頃まで話し合つたが、話しはつきなかつた。 ○時間が少ないので、家族との話し合う機会がなかつた。 ○先方が役員で忙しかつたので余り個人的話し合いができなかつた。 ○地区交換会は余りテーマにしはられないで話題が多方面にわたつてよかつた。 ○先方の男性の発言は活発であつたが、女性はこちらに比べて意見が少なかつたように思つた。 ○役員級の人の話しが多く一般会員の話し合いが少なかつたのは残念。 	
2. こちらの事前準備はよかつたか	2	17	5	<ul style="list-style-type: none"> ○事前研修等の際集らない人が多く出発まで不安であつた。 ○もう少しこちらの団体等の社会教育活動面など知つてよかつた。 ○当方の受入れの際は誠に不十分なのに、先方の受入れが至りつくせりであつたら入りたいと思つた。 ○当方での歓迎はもっと全能的にした方がよい。 ○先方の事情をもつとよく調査しておくことが望ましい。 ○地区別に班編成したが、各地区の人と混つて編成した方がよい。 ○班内のまとまりもよく、会員がその点に協力してよかつた。 ○随行者の数が多すぎた。 	9. 交換については	20	4	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろと実際に見聞を広められる、自己反省の資料が得られた。 ○楽しかつた。友達になれたのが何よりであつた。 ○交換会の意義は十分に達せられた。 ○私達は方言が多く、それに話がかたかく難産で思つたように話ができなかつたのは残念。 ○今まで全然知らない面白い土地の人達と心から打ち交した友達になれたことはうれしかつた。 ○よくてよかつたが、もっと青年学級としての交換がほしかつた。 ○先方として泊位欲しかつた。 ○もう一日ゆつくり話し合つた。 ○せっかくの機会なのに時間があつたが、家族の人達と話し合つてよかつた。 ○もう二泊位なればもっとよかつたと思つた。 ○堅実にみんな協力的なのは感心した。 ○町部・村部の結びつきがよく思つた。 ○ハキハキして朝から楽しい話しができた。 ○各家庭でちがうことと思つたがきわめてのんびりとした感じがよかつた。 ○自然の条件に恵まれているせいか一般に明るい感じがした。 ○全体に活発であると思つた。 ○都落全体が歓迎してくれてなごやかであつた。 ○少しも知らない人達までやさしく親切にしてくれた。 ○大変親切で少しの気がねもいらないで非常によかつた。 ○一般に気持ちよく迎えてくれた。 ○家族一同から混く迎えられる一般の人々の感じは非常によかつた。 ○まとまりがよく活発に動いてる。 ○会員は少いがよくまとまつていふと思つた。 ○青年と婦人とは一しょに事を進めたのは感心した。 ○運動ではあるが、こちらと比べて特別自立した活動はみられなかつた。 ○待たれよと思つたが受入の際の団員の協力が立派であると思つた。 	
3. 班編成・役員について	15	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ○班内のまとまりもよく、会員がその点に協力してよかつた。 ○随行者の数が多すぎた。 	10. 存続期間について	8	15	3	<ul style="list-style-type: none"> ○適当であつた。大変よかつた。 ○少ない旅費で楽しく見聞を広められることができてよかつた。 ○町からの補助は町の財政上あつた程度より仕方がないと思つた。 ○所定経費は適当であつたが、その他の経費が多かつた。 ○経費は3分の1程度にしても多くと多くの学級生を派遣したらよかつたと思つた。
4. 経費は適当であつたか	17	10	<ul style="list-style-type: none"> ○今後はもう少し若い人を交えた方がよいと思つた。 ○各部落から1名ずつ行つてもよかつた。 ○先回と顔触れが変つたのは残念。受入れの時よかつた。 ○来年の学級を運営してよかつた。 ○青年の経験のある人がよいと思つた。 	11. 相手青年の生活態度は	16	8	2	<ul style="list-style-type: none"> ○意義ある計画を立てて頂き深く感謝している。 ○気を配つて頂いたのは感謝するが、何かあまり小さいことまでタツテし過ぎたように思つた。 ○気がよかつき計画がうまくいつてた。 ○役員は責任をもつてよく動いてくれた。 	
5. 派遣人員・人選について	8	14	2	<ul style="list-style-type: none"> ○往くときの上野までの時間が短かつた。 ○夜行列車は疲れてよくない。 ○顔はわかつていても話を交す機会がなかつた人達と気懸に話し合えたよかつた。 ○明かるい雰囲気よかつたが、下車の特紙筒などを整理したらよかつた。 ○楽しそうなお話か不安そうなお話か何となくした。 	12. 青年活動について	12	13	<ul style="list-style-type: none"> ○意欲ある計画を立てて頂き深く感謝している。 ○気を配つて頂いたのは感謝するが、何かあまり小さいことまでタツテし過ぎたように思つた。 ○気がよかつき計画がうまくいつてた。 ○役員は責任をもつてよく動いてくれた。 	
6. 運営者側はどうであつたか	16	8	<ul style="list-style-type: none"> ○往くときの上野までの時間が短かつた。 ○夜行列車は疲れてよくない。 ○顔はわかつていても話を交す機会がなかつた人達と気懸に話し合えたよかつた。 ○明かるい雰囲気よかつたが、下車の特紙筒などを整理したらよかつた。 ○楽しそうなお話か不安そうなお話か何となくした。 	13. 一般の人々はどうであつたか	18	6	<ul style="list-style-type: none"> ○意欲ある計画を立てて頂き深く感謝している。 ○気を配つて頂いたのは感謝するが、何かあまり小さいことまでタツテし過ぎたように思つた。 ○気がよかつき計画がうまくいつてた。 ○役員は責任をもつてよく動いてくれた。 		
7. 列車の中では	9	15	<ul style="list-style-type: none"> ○往くときの上野までの時間が短かつた。 ○夜行列車は疲れてよくない。 ○顔はわかつていても話を交す機会がなかつた人達と気懸に話し合えたよかつた。 ○明かるい雰囲気よかつたが、下車の特紙筒などを整理したらよかつた。 ○楽しそうなお話か不安そうなお話か何となくした。 	14. 相手青年の生活態度は	16	8	2	<ul style="list-style-type: none"> ○意欲ある計画を立てて頂き深く感謝している。 ○気を配つて頂いたのは感謝するが、何かあまり小さいことまでタツテし過ぎたように思つた。 ○気がよかつき計画がうまくいつてた。 ○役員は責任をもつてよく動いてくれた。 	

随想



癌の早期診断は

あなたの方から

新潟大学医学部外科教室 遠藤三郎

遠藤博士は県内きっての外科の権威として、日夜ご多忙の身であるが、このたび特に次のような一文を寄せられた。

公民館活動を通じて「ガン」についての理解を深めていた方が、熱意からである。博士はまた、結核の外科治療のエキスパートとしてもすべ、広く知られている。甲田村教主士とは旧三中新潟高校時代のクラスメートであり、編纂士は執刀を受けたことがある。県内の公民館から要望があれば、指導をきいて講演もお受け願うことと。

人類の敵を征服するために

ガンの問題が医学界一に對して、毎日巨額の寄附金がかかる問題としてだけな寄せられていることは誠に喜ばしく、一般の方々にしても一つの社会問題として、最近大きな話題となつてきていることは承知のとおりである。しかも癌元では並立なガセンタの開設を一年

「地方編」原稿をおはやく
十周年記念誌は「地方編」原稿(各公民館書記長、月報八号参照)の未着の公民館が若干あるため、編纂はからず困っています。三月十四日この編集委員会を開催いたしますから、それまで未送付の公民館は大至急お送りください。

三つの理想像
昨年の十一月、中央の某日刊紙に社会教育記事の理想像なるものがのつておった。曰く「紙に社会教育記事の理想像なるもの、踊って、シャベって、書いて、映画、スポーツ、自動車免許、理論実践がたよらず。能更酒のみ、さほけて堅く、身体と夫な活動家」これにならって次の三つの理想像(〇)が生れた。公民館主や役員は他人にもさせ、さほけて事については、「民謡、ゲーム、ブオータダンス、映画機動がこころ笑つてゐる。」(R生)

社教漫言

その一

「パイプで走り、理論でなして実地に生かす。腰が低くて、あしながよくて、上日夜間もどしどしに社会教育記事の理想像なるもの、踊って、シャベって、書いて、映画、スポーツ、自動車免許、理論実践がたよらず。能更酒のみ、さほけて堅く、身体と夫な活動家」これにならって次の三つの理想像(〇)が生れた。公民館主や役員は他人にもさせ、さほけて事については、「民謡、ゲーム、ブオータダンス、映画機動がこころ笑つてゐる。」(R生)

さかさまのフ
フ
フ
先月号「あながき」のカットのランフがさがきでした。第一ラ
近頃やみやみ批判精神が説かれますが、批判はとかく孤立化を招きやすいので、批判自体反省が大事かと思ひます。
他人とともに譲りを重しめてゆく行動こそ望ましいものです。
批判と傍観をどうやって
他人のこころを尊重してゐるというには野次馬と異なるところが
ちよつとしたミスでもわかるも
ないと思ひます。(S)

現在もあるいはそれがわからない
まさしく未期のいわゆる手遅れの
痛はそうであった。しかし、もし
すべての痛が、今日なら、それで
あると考へることには、時代遅れの
そしりを免れない。私共は言わね
れば、もっと多くの癌患者は助か
り得るのであるが、癌を救れるの
余り、あるいは癌に対する知識の
不足のために、助かれない患者
までが、助からないでゐるのであ
る。心構えさえあれば、もっと多
くの癌は助かることを強調した
すなわち早く見つけて早く治療
することである。すべての病氣に対
して言えることであるが、いわね
る早期診断と早期治療である。癌
の早期診断の困難なことは事實で
あるが、あなた方一人一人の心構
えと、医師一人一人の心構えとが
一致して二つの方向に向い、医療

川柳
大野 風柳
日記書く文才を人に知らすまい
木の岡に背を向けて食う父ひとり
別室の花さそりとお水を吸う
嘘の子を激しり恥ぢ落ちつかず
酒に酔う夫ハズに酔う妻を持ち
(川柳 柳部 主孝 新津市公民館連合会委員長)

山田 凡染
丘さんが風邪味みん草葉する
麻雀も暮もせず出世のつるもなし
子が四人 P・T・A にぬけ切れず
また金のいる弁当を三つつめ
なれすぎた言葉をかけて注意され
診察の部屋がふあんと暖かし
いつものがぶさが隣の箱へ脱ぎ
(川柳 柳部 一朗閣、青海公民館 館主事)

一面掲載のとおり、丸山会長が本年度かきりさるることになりま
した。公民館の福盛期ともいうま
きこの八年間を、名会長として努
力してこられた功績は、ながく歴
史にのこること存じます。
会長をゆめられても、公民館と
縁が切れたというわけではなく、
生涯の仕事の一つとして、社会教
育のために力をつくしていくこと
を約束されています。
主事会類即原案作成の代表会議
のこと。スパーマンを発売
揮っていた新井の杉野主事が、近
いうちに胃を閉鎖するとういので
おぞきました。糸魚川の梅山主
事もおかしらしいとういので
す。こうして公民館のベテランた
ちが、かわるがわるにベットの伏
せるのを見聞しますと考へさせら
れます。
特集に予定していた「新井市事
業計画表」はスペースがなせられ
ませんでした。
新年度の事業計画、予算もきま
り、このころは新会長を迎えて新陣
容をととのえるだけとなりました。
力をふるいおいて新年度も即進
いたしましょう。(海)



あとかき